

みのり高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	必履修	単位数	教科書	副教材
書道 I	○	2	東京書籍「書道 I」	
評価方法	添削指導(計6回), 面接指導(年8)での評価			

指導目標

書道の幅広い活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

〔評価の観点〕

- 【主体性】・主体的に書の表現及び幅広い活動に取り組む。
- 【思考・判断力・表現力】・書の良さや美しさを感じ、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わう。
- 【知識・技能】・書の表現方法や形式・書表現の多様性について幅広く理解する。
・基礎的な技能を身に付ける。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第1回 提出期限 5月15日	◆書写から書道へ	・書写で学んできたこと ・用具・用材 ・姿勢・執筆法	・中学校書写で学習したことの確認として、楷書と楷書に調和する仮名、行書と行書に調和する仮名、配列の基本について学習する。 ・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・基本の姿勢、執筆法、後片付けについて、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。
第2回 提出期限 6月16日	◆漢字の書 楷書の特徴 「楷書」	・「九成宮醴泉銘」 ・「孔子廟堂碑」 ・「雁塔聖教序」 ・「自書告身」 ・「牛橛造像記」	・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 ・「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。 ・楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。
第3回 提出期限 7月15日	◆漢字の書 行書の特徴 「行書」 草書の特徴 「草書」 隸書の特徴 「隸書」 篆書の特徴 「篆書」	・「蘭亭序」 ・「争坐位文稿」 ・「風信帖」 ・「真草千字文」 ・「曹全碑」 ・「泰山刻石」	・行書の特徴を理解する。 ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。 ・「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。 ・「曹全碑」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。 ・「泰山刻石」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
------	-----	---------	------------------

第4回	◆仮名の書	・ 仮名の成立 ・ 仮名を書く準備 ・ 平仮名の単体 ・ 変体仮名 ・ 連綿	・ 仮名の成立と変遷について理解する。 ・ 仮名の基本的な線、平仮名の単体の特徴、変体仮名、連綿について理解し、練習する。
提出期限 10月15日		・ 「蓬萊切」 ・ 「高野切第三種」 ・ 「関戸本古今和歌集」	・ 平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。 ・ 古筆を鑑賞し、その美について理解する。 ・ 古筆の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。
第5回	◆漢字仮名交じりの書	・ 漢字仮名交じりの書の変遷 ・ 表現を比べよう ・ 表現の工夫1 ・ 表現の工夫2 ・ 表現の工夫3 ・ 表現の工夫4	・ 漢字仮名交じりの書の変遷について理解する。 ・ 古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたり文字の大きさや配列など、紙面の構成を工夫することで表現に変化をつけることを理解する。 ・ 書き方の工夫によってさまざまな表現ができることを理解し、どのような表現をしたいかという意図に合うかどうか考える。
提出期限 11月14日			
第6回	◆篆刻と刻字	・ 篆刻と落款 ・ 創作 ・ 鑑賞 ・ 創作	・ 落款の意味や種類について理解する。 ・ 篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解する。 ・ 篆刻の作品を鑑賞する。 ・ 刻字の用具・用材や創作の手順について理解する。
提出期限 12月15日			